

協同組合ネット北海道主催

日時：2024年4月5日(金)

会場：北海道労働金庫本店3階会議室

## 第1回 合同採用説明会開催に向けた ～未来を担う協同組合人材を求めて～ 研究・検討会開催！

学生の就職意欲低下や優秀な人材確保の難しさ、説明会開催時期の早期化など、課題を共有し、未来を担う協同組合人材を求め、14組織による第1回合同採用説明会開催に向けた研究・検討会を開催しました。

協同組合ネット北海道参加組織の人事採用担当者19名が参加し、2026年度採用における課題や悩みを共有し、学生の採用意欲低下や優秀な人材確保の難しさ、説明会開催時期の早期化、採用説明会コラボ事例の紹介等を共有し、今後の採用活動の方向性について様々な意見交換がおこなわれました。

### 学生の就職活動に対する意欲低下と 優秀な人材確保の難しさ

近年、学生の就職活動に対する意欲低下や、優秀な人材確保の難しさといった課題が顕著になっています。今回の検討会では、参加者から以下のような具体的な課題が共有されました。

- 学生の就職活動に対する意欲低下
- 協同組合に対する認知度や理解度の低さ
- 説明会開催時期の早期化
- 協同組合の魅力を効果的に伝える方法の不足
- 採用活動における競争の激化

### 学生ニーズに合わせた採用活動の必要性

学生ニーズ分析の結果、学生は以下のような点を重視していることが明らかになりました。

- 社会貢献度の高い仕事
- ワークライフバランス
- 自己成長できる環境
- 協同組合の理念や価値観への共感

これらのニーズを踏まえるため、協同組合は一体となって、学生に魅力的にアピールできる採用活動を実施していくことが重要と考えられます。

### 協同組合の未来を担う人材の確保へ

今回の研究・検討会は、2026年度の採用活動に向けて、協同組合の連携を強め、新たな方向性を示す貴重な機会となりました。また研究会では参加メンバーより具体的な企画案として、インターンシップ誘致説明会と早期選考誘致説明会の提案がされました。今後この件について具体的な企画案を検討し、実施に向け準備を進めていきます。

このような協同組合連携による新たな取り組みが、学生の協同組合への理解を深め、就職意欲を高めることになり、優秀な人材を早期に確保することが可能になると考えています。



# 大学キャンパスに 昨年以上の笑顔と元気が あふれました！

大学生協同組合連合会 北海道ブロック  
事務局次長 古屋 麻実

全国大学生協連合会が毎年行っている「保護者に聞く新入生調査」によると、北海道内の大学に進学された保護者の2人に1人が、友達作りに不安を感じています。また春になるとSNS上で「#春から〇〇大」という投稿が増え、入学前から人とのつながりを求めていることがうかがえます。

コロナ規制がなくなった2024年春。対面で行う新入生歓迎会に取り組む組織委員会が数多くありました。新入生歓迎会を実施する先輩たちが新入生だった2021年～22年はコロナ禍による規制が多く、オンライン実施の新入生歓迎会に参加した経験はあっても、対面での新入生歓迎会には参加したことがない先輩が大半です。対面で行われていたころの記録を見返したり、すでに対面で実施をした他生協の事例を学んだりしながら企画作りを進めました。企画内容を考える際は新入生に充実した楽しい大学生活のスタートを切ってほしいという想いを大切にしながら、学生同士で議論を重ね、「新入生同士の交流」「新入生と先輩の繋がり作り」「キャンパスやその周辺を知れるレクリエーション」などを立案しました。

運営当日はたくさんの新入生が参加してくれました。半数以上の新入生が参加する大学もあり、新入生



にとっても友達づくりの大切な場として認識されていることを実感しました。開始直後はよそよそしかった新入生同士も企画が進むにつれ、お互いに声をかけあい楽しく話をする姿が多くみられました。新入生だけではなく運営を行った先輩学生自身も楽しみ、友達づくりの機会を先輩学生として作ることができた喜びや大学生協の組織委員会として取り組む価値を感じることができました。そんな先輩の姿見て、「自分が先輩にしてもらったことを今度は自分が後輩にやってあげたい」という温かい思いをもって組織委員会に入り、活動を始める新入生も多くいます。

組織委員会の活動はこれだけにとどまらず、新入生が最初に苦勞する履修登録に関する相談会や部活・サークル案内企画・パソコン講習会なども盛んに行われ、新入生の大学生活を様々な角度からサポートする取り組みが行われました。

コロナ禍以前には及ばないものの、多くの学生が笑顔で行きかうキャンパスは笑顔と元気にあふれています。この笑顔と元気をさらに増やし有意義な大学生活を過ごしていただくために大学生協職員として何ができるかを日々考え、組織委員会と連携しながら実践していきます！



北海道教育大生協 たくさんの笑顔があふれました



北海道教育大生協 ゲームで盛り上がります